



すくすく



寒さがやわらぎ、春の気配が感じられるようになりました。季節の変わり目は自律神経が乱れやすく大人も子どもも体調を崩しがちです。食事、活動、睡眠の生活リズムを整えていきましょう。

いよいよ4月からは進級、進学と子どもたちにとっては大きな変化を迎えます。お子さまが元気にそのスタートを切れるよう、職員一同心を込めてお世話させていただきます。

「3月3日」耳の日に寄せて

3月3日は「みみの日」です。耳は、音を聞いたり、体のバランスを感じ取ったりする大切な器官です。子どもの耳ならではの特徴を知って、耳を守りましょう。

子どもの耳は…… 中耳炎になりやすい

中耳は「耳管（じかん）」という管で、鼻の奥と繋がっています。子どもは大人に比べて耳管が短く、傾きがなだらかなため、鼻の中のウイルスや細菌が耳管を通過して中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいのです。

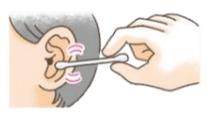
だから…
鼻水を放っておかない

鼻水が出ているのをずっと放っておくと、鼻水の中のウイルスや細菌が繁殖し、中耳炎の原因になります。鼻水が多い時、何日も続く時は鼻吸引器（鼻汁吸引器）などで吸ってあげましょう。

子どもの耳は…… 耳掃除が大変

耳の穴が小さく、中が見えづらいため、耳掃除が難しいです。また、耳の中の皮膚は敏感のため、子どもが嫌がって動いて耳の中を傷つけることなどの事故があります。

だから…
困ったら耳鼻咽喉科で相談しましょう



普段の耳のケアは、お風呂上りなどに耳の穴の入り口を綿棒でぬぐうだけでもOKです。綿棒を奥に入れてしまうと、耳あかも一緒に奥に引っかき取ってしまいます。耳掃除が難しい時には、耳鼻咽喉科に相談しましょう。耳掃除だけで受診することは珍しいことではありません。

～すくすくハウスの一コマ～

小学生のKちゃんとAちゃんが折り紙でひな飾りを作ってくれました。Kちゃんはお内裏様とお雛様を、Aちゃんは立体的なお花を作ってくれました。2人とも作り方の本などは見ずに、自分で考えたり、折り方を思い出しながら作っていてびっくりでした。最後は台座を協力して作り、完成したものを玄関に飾って嬉しそうに笑いあっていました。



今年度もたくさんの方に利用していただき、ありがとうございました。これからもお子さんの体調管理や気持ちに寄り添いながら、保護者の方がより安心できる保育を心掛けて参ります。来年度も、すくすくハウスを宜しくお願いいたします。

～感染症情報～

今年は雪が多かったのか、少なかったのか。寒波は長居しましたが大雪ではなかったように思います。これからどんどん春らしくなるのが楽しみです。さて、インフルエンザの流行はそろそろ終息のようです。新型コロナウイルス感染症もそんなに増えてはきていません。じわっとヒトメタニューモウイルスやRSウイルスが増えてきていますが大きな流行には至っていません。流行中なのはノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎です。感染拡大しないよう吐物の始末、手洗い徹底を心がけて下さい。

胃腸炎 先月は66名。ノロウイルスなどの腸管ウイルスが原因の病気です。突然吐き始め続いてひどい時は熱もでて点滴が必要になることもあります。食べられるようになると下痢になることもあります。家族に感染拡大しないよう吐物の始末、手洗い徹底を心がけて下さい。ノロウイルスなどによると思われるウイルス性胃腸炎が流行中です。感染力が強く園児も帰ったウイルスで家族全員発症したケースもありました。

インフルエンザ 先月は26名。今年の流行はそろそろ終息のようです。年末年始が感染ピークだったようです。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 先月は8名。こどもの間で感染が広がっているというより同居の大人から感染して広がっている感じです。流行はしていません。

RSウイルス感染症 先月は18名。症状は咳や鼻水、鼻閉など、かぜの症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな息になってきます。途中で肺炎や中耳炎になることもあります。特に6ヶ月未満の赤ちゃんに感染すると重症化しやすいです。

ヒトメタニューモウイルス感染症 先月は21名。症状はRSウイルスとよく似ています。

百日咳 先月は1名。百日咳菌という菌が原因で、熱はでませんが生後6ヵ月までの赤ちゃんにとっては危険な病気です。最初はふつうの咳とかわりませんが、次第に顔をまっかにして激しく咳込むようになります(特に夜間)。うつってから2～4週頃が最も咳がひどい時で入院を要することもあります。疑われないとなかなか診断が難しい病気で当院では病原体核酸検査で診断しています。

マイコプラズマ感染症 先月は発生なし。

溶連菌感染症 先月は17名。溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出ます。舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。1歳未満の子に感染するのはまれで、5～15歳の子どもが感染しやすいです。

アデノウイルス感染症 先月は5名。

水痘 先月は3名。

伝染性紅斑(りんご病) 先月は1名。全国的には流行しているようですが福井県ではあまり多くないようです。丸岡町の一部の保育園で小流行がありました。

手足口病 先月は3名。流行はほぼ終息です。

おたふくかぜ 先月は発生なし。

つちだ小児科「アイチケット」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。